

2. 評価報告概要表

全体を通して(このホームの優れている点、独自に工夫している点など)	
入居者一人ひとりの人間性を大切に、個人の生活歴を理解して、家庭的な雰囲気を作ることで安心、喜び、自信を高め、家庭としての落ち着いた場所と住み慣れた地域で、仕事・役割・楽しみを通して生活に潤いと生きがいを持っている。たとえば、日替わりの行事を決めて、外出などをし、その時々のエピソードを入居者同士で回想し会話を持ちたりと、生活に密着した中で痴呆性高齢者に対応したりハビリをさりげなく行っている。	
分野	特記事項(優先順位の高い要改善点について)
	5つの基本理念に則ってゆったり・たのしく・いっしょにを職員間で徹底している。入居者本位の支援が継続されることを期待する。
運営理念	
生活空間づくり	親しみやすい雰囲気の演出を期待される。玄関周りの花類が少し増やされて、ホーム表示も少し色彩感のある親しみやすいものにされてはどうか。入居者と共に手入れや育てることをすることにより、役割等を作ってほしい。また、今後、一人ひとりの状況を再度仔細に点検し、入居者の身体機能の低下にあわせて、安全かつできるだけ自立した生活を送れるよう、手すりの設置など、工夫が望まれる。空気のおよみや、においがこもらないように、こまめに換気するなど、細やかな配慮が求められる。
ケアサービス	ご家族の面会の時に、積極的に介護計画について相談を持つなど、相談コーナーや部屋などを設け、面会者を誘導し、ご家族が思いを十分に表出できる工夫が望まれる。また、自由に出られないことへの圧迫感はないか、それが意欲をそいだり、混乱を招く事になっていないか、安全と制限の側面のなかで、入居者の立場になって再度、検討してほしい。設備面で困難な面もうかがわれるが、無理としまわずに、自由な暮らしの実現にむけて検討を重ねてほしい。さらに、同じ目線で、同じ食事を囲んで、楽しく食べながらさりげなくサポートすることで、入居者は、落ち着いて食事を楽しめるので、一緒に食事することが望まれる。
運営体制	入居者と馴染みの関係は、ご本人やご家族にとっても安心につながる。一人ひとりの生活歴や特徴などふまえたきめ細やかなケアを継続する面でも、再点検し検討が望まれる。また、第三者の相談窓口なども積極的に取り組んでほしい。定期的に伝達する方法を検討することが求められる。さらに、地域の痴呆ケア向上のためにも、町と積極的に連携を図っていけるようホーム側からの働きかけが望まれる。

分野・領域	項目数	「できている」項目数	
		外部評価	
運営理念			
運営理念	4項目	4	
生活空間づくり			
家庭的な生活環境づくり	4項目	2	
心身の状態に合わせた生活空間づくり	6項目	4	
ケアサービス			
ケアマネジメント	7項目	6	
介護の基本の実行	8項目	6	
日常生活行為の支援	10項目	9	
生活支援	2項目	2	
医療・健康支援	9項目	9	
地域生活	1項目	1	
家族との交流支援	1項目	1	
運営体制			
内部の運営体制	10項目	9	
情報・相談・苦情	2項目	1	
ホームと家族との交流	3項目	3	
ホームと地域との交流	4項目	3	